

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年 4月 8日

事業所名 グーニーズ放課後

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	0	雨の日などは教室内は窮屈なので倉庫に誘導をおこなっています。 キッズが過ごしやすい環境・空間作りにも努めている。 利用者が活動しやすいように環境作りをしている。	より良い環境を目指し、大家とも協議のうえ必要な改修を行なっていきます
	2	職員の配置数は適切である	4	1	1	利用者の状況を考慮しながら配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	4	2	段差が大きい部分は自分からの意思表示を促す形で介助を行ってます。 ・部屋の敷居(段差)はマットで保護してつまづきや、歩けない子の移動も怪我のないようにした。 改善目標として ・トイレのドアが右開きの方が使いやすく出入りしやすい。 ・玄関の軒(屋根)がないので、雨や雪の日の出入りが傘がないと濡れてしまう。 トイレをバリアフリーにして欲しい。	賃貸のため大家と相談し適切な工事や改修を行なっていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	4	0	教室内でミーティングをする機会をつくってありますが、その日休んでいるスタッフへの共有ができてないこともある。	議事録の共有を徹底します
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	5	0		行政ルールに従って実施していきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	4	1		行政ルールに従って実施していきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	0		行政ルールに従って実施していきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	0		外部研修の補助等を行っていますが、社内周知を徹底し促進していきます

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	2	標準化されたアセスメントツールがあるのかわからないです。	他施設や行政の情報を参考に可能な範囲で対応します
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	1	活動の共有は行っているが、休みのスタッフがいたら共有が遅れることもあります。	議事録の共有を徹底します
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0		固定化しないよう外部情報等を参考に新しい活動の採用に努めています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3	1		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	1		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	1	支援前までに、その日の予定を話し合いスムーズに対応できるように、配慮や準備をしている。	終礼もしくは翌日の朝礼を活用して、振り返りを行いやすい運用を検討します
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	0		終礼もしくは翌日の朝礼を活用して、振り返りを行いやすい運用を検討します
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	スタッフで分担しながら、保護者LINEへの日誌を送るように協力している。	行政ルールに従って実施していきます
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	4	0		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	0		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1	0	利用児童の学校・学年ごとに通常の下校時間と行事予定の手紙を毎月ファイリングして確認、対応をしている。時間変更等の連絡があれば、その都度送迎表・予定表の変更を確認し、グループLINEで共有している	行っていますが、社内周知を徹底します
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	0		相談支援員を介し連携を強化していきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	0		相談支援員を介し連携を強化していきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	0		相談支援員を介し連携を強化していきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	0		小児科・精神科の医師と連携し助言を受けていますので、今後は得た情報の社内周知を徹底します
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	1		感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	5	1		参加を行っていますが社内周知を徹底します
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0		公式LINEを中心に行っていますが、社内周知を徹底します
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	1		感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0		契約時に説明を行っていますが、全社員が参加しているわけではないため、実施していることの社内周知を徹底します
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0		適宜対応していますが、実施していることの社内周知を徹底します	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	1	感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	0	公式LINEでの発信頻度を増やすことで対応します
	35	個人情報に十分注意している	5	1	0	行政ルールに従い実施していますが、社内周知を徹底します
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	適宜対応していますが、実施していることの社内周知を徹底します
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	0	感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	2	共有ドライブに保管していますが、社内周知を徹底します
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	1	4	行政ルールに従い実施していますが、社内周知を徹底します
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	3	0	社内ルールを設定し共有するよう努めます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	1	事故報告書として共有できる運用を開始します